

## 【参加アーティスト】

### ■森岡篤 (Instagram @at\_pin\_at\_pin)

小さい頃から魚好き、20歳のころに東京タワーにあった水族館で働く。写真に興味を持ち、コマースシャルフォトの現場で勉強。1995年出版社ピーシーズでカメラマンとして魚の撮影を中心に本作りをする。まだまだ知られていない水槽の魚を撮影するカメラマンとして、少しずつ作品を発表し、3年ほど前から魚の正面写真を発表し始める。魚の正面から撮った作品「うおづら」はSNSやカレンダーで発表し、人気になってきている。本展では初公開展示やグッズ販売も予定。



### ■安堂真季 (Instagram @wato218)

2014年より写真を始め、約2年間、アシスタントとして従事。その後、訪れた奈良県大和郡山市でレトロな景色と商店街の人たちの人柄に魅了され、主な撮影場所として通い始める。それに伴い、金魚の写真を多く撮る機会が増え、現在は金魚がメインの被写体となる。空間に金魚が漂っているかの様に撮影する【浮遊金魚】シリーズや、大和郡山の生活にとけ込む金魚たちを撮影するのが得意。撮影した写真を元にして作成したグッズの販売、イベント時に写真展示を開催して活動中。グッズでは透明素材（PET）に撮影した写真を印刷した【透明写真栞】が注目され、Webサイトやタウン誌などに掲載される。本展では前回人気だった透明栞の新作が登場予定。



### ■矢萩ひかる (Twitter @demetyoubi)

羊毛フェルトをメイン素材として金魚作品のみ作る金魚作家。羊毛フェルト金魚は病気にならないし、ご飯もいらないし、水換えも必要ないし、軽いので旅行に連れて行ったり、いろんな場所で記念写真も撮れる、どこでも一緒にいられる金魚。他の金魚グッズは夏以外に金魚をさりげなく身につけられるデザインを意識して作っている。本展では、羊毛フェルトの限定品が登場予定。



## ■ハラサトコ(Twitter @tocophoto)

写真家・随筆家。風景、動物、植物から、街並みやポートレイト、静物画までジャンルを問わず撮影。活動の軸となる個展やグループ展等の作品展示のほか、アーティスト写真撮影なども手掛ける。金魚写真は過去数年間ライフワークとして撮り続けていたテーマで、その集大成として開催した2019年の自身の個展を以て撮影を一時休止。今回、約一年半ぶりに金魚撮影を解禁。出品作はすべて本展のための撮り下ろしとなる。多重露光撮影（撮りながら複数の画像を重ねていく方法）による写真作品を展示予定。



出展者は上記ほか、岩本夏樹、utakokeshi、かず乃子、硝子造型士 穂坂 英樹、黄色花、KirieFabbrica、Kingyo、sheeta、すあか、ソライロ刺繍、西野真弓、ねぎねぎ、晴智ありさ、fake of fake、雅人、やない金魚ちょうちん本舗、祐琴、養魚場カジコなど全22組を予定。